

ふくしま 地域活動団体 サポートセンター News Letter

2012.vol.4

- 活動のツイートをインターネットに浮かべよう
- 「NPOのためのIT活用講座」開講のお知らせ
- 「いま」を駆ける。地域活動者たち（活動団体紹介）
- Shake hands Fukushima～協働事業は進行中～
- チャレンジ！助成金情報
- NPO法人会計基準への対応
- 専門家派遣事業のご案内
- 編集後記

活動のツイートをインターネットに浮かべよう

テレビで紹介されたおいしいそうなスイーツ。「ああ！食べて見たい」と思って、インターネットで検索をしてみます。商品名と生産地をキーワードに調べてみますが、思うような結果が得られません。こんな経験は、ありませんか？

情報流通量は、平成8年度からの10年間で530倍に増大したとの統計が出ています。わずか15年ほどの間に、世界はガラリと変わってしまいました。携帯電話やパソコンから知りたいことを瞬時に取り出せて活用できる、まさに【未来世界】がいまの世の中です。

紙に印刷したものと違って、ウェブの仕組みは複雑です。「ホームページが欲しい」と思っている、なかなか開設出来ないのは、「何を準備していいかわからない」「誰に頼んでいいかわからない」「高いかわからない」といったような分からないことだらけで面倒くさくなってしまふことに原因があるのではないのでしょうか。

ホームページは、情報の発信や取得をするための主要な手段です。活動を支援したいと思った方や、ボランティアで協力したいと思った方が、興味のある団体を検索したときに結果が出なかったとしたら「まあいいか」となってしまい、大切な機会を逃すことになりかねません。検索結果に出ないということは「世の中にないない」と同義なのです。インターネットの大海原に、自分達の情報という【活動のツイ】をできるだけ多く浮かべることが、未来世界の今日にはとても重

要です。そのためにも、必要な情報が網羅されたホームページを整備し、情報開示やNPOデータベースといった既設の仕組みと、ブログやソーシャルメディアなどを上手に取り入れながら、自分たちの存在をインターネット世界にも、確固として位置づけていただきたいと思います。

ホームページを制作するにあたって大切なことは、とにかく他の団体のページを「見る」ことです。たくさんサイトに触れ、審美眼を養い、制作業者に「こういうものを作りたい」と伝えられるようになることが、第一歩だと思います。

◆開設するとき困ったら……………

- ①自分たちの活動や内容によく耳を傾けてくれる専門家に相談しましょう。
- ②交流のある他の団体にどのように作ったか教えていただきましょう。
- ③中間支援のサポートセンターなどに相談して情報をキャッチしましょう。
- ④業者に依頼するときは複数から見積もりを参考にしましょう。



執筆：盛藤伸仲
(株式会社がらっとWeb放送取締役)

「NPOのためのIT活用講座」開講のお知らせ **参加無料**

ホームページ開設講座

講座内容

インターネット・エクスプローラーなどのWEB閲覧ソフトで編集してすぐにホームページを公開できる方法

開催日時・会場

講座時間はすべて(13:30～16:00)です。
1月29日(火)チョコラボ(福島市)
1月30日(水)チョコラボ(福島市)
2月 1日(金)インターネットステージ(郡山市)

講師

ホームページ開設講座/NPO法人パソコン会計講座
早川 昌 郎：ふくしま地域活動団体サポートセンター チーフリーダー

NPO法人パソコン会計講座

講座内容

NPO法人会計基準に準拠した会計ソフトを今後の経理で活用する方法

開催日時・会場

講座時間はすべて(10:00～12:00)と(13:30～15:30)の1日2回の開催です。
※同内容の講座を午前と午後で開催します。どちらかにご参加ください。
2月 6日(水)チョコラボ(福島市)
2月 8日(金)郡山ビッグバレット3階小会議室1(郡山市)
2月13日(水)会津アピオスペース2階会議室(会津若松市)
2月14日(木)いわき市生涯学習プラザ4階多目的室(いわき市)

「いま」を駆ける。地域活動者たち

NPO法人 いわきの森に親しむ会

いわき市

晩秋に佇む「湯野岳山荘」に松崎理事長を訪ねると、暖炉には火が入っていました。会は里山と市民を結びことをねらいとして、2001年10月に発足。その後、自然観察や環境学習などにとり組みながら、2004年6月にNPO法人として設立されました。

山荘は震災による被害はなかったものの、活動は変化してきています。山荘に設置された放射線量測定器で安全が確認されていますが、山に足を運ぶ市民が減少したといえます。そうした状況の中で、地域を超えた交流が活発になってきています。これまでも取り組んできた「ろうきん森の学校」では富士山地区、広島地区、福島地区を結び「森・人・地域を育てるプロジェクト」が進行中です。また、NPO法人トキキ環境未来基地との連携による「苗木forいわきプロジェクト」で海岸のクロマツ林復元にも取り組んでいます。身近な活動では間伐材でプランターを作り、土と種をセットにして仮設住宅に届けたいと書かれています。森林面積が県土の71%を占める「ふくしまの森づくり」について松崎さんは、山遊びの延長ではなかったこの活動から、今後は森づくりの担い手育成に歳月を費やしていきたい、と語りながら暖炉に薪を足してくれました。



▲森づくりについて語る松崎和敬理事長



▲あたたかな暖炉の火

「いま」を駆ける。地域活動者たち」では、福島県内で元気にとり組んでいる地域活動のようすをご紹介します。

福島市民活動サポートセンター

福島市

福島市民活動サポートセンター（通称ふくサポ）は、福島駅から東へ徒歩8分。チェンバ（おまち3階）にあります。福島市が設置して管理運営をNPO法人へ委託している官設民営の施設です。利用登録団体が232団体で平成23年度の延べ利用者数は、11,821名と前年度の2倍を数えました。平成17年に設置され、22年5月に移転し、会議室2室、多目的ホール1室、印刷室、交流広場などを設置しました。交流広場は、自由に使用できる場所ですが、キャリヤーとしても開放しており、一般市民も見学に訪れるようになったといえます。

運営に関わり4年目となった内山愛美チーフは、ふくサポを「絆と出会い」の場としたうえで「私たちは連携を結び、架け橋のサポートすることが役割です」と笑顔で話してくれました。大きく願っていた福島市民活動支援課の鈴木月子主事は「団体と団体がつながることで、一つではできなかったことが実現します。ふくサポが支援することで信頼関係を築き、協働による活動が広まればと思います」と話してくれました。最後に課長を内山チーフに尋ねると「一部ですが、使用のルールを守ってくれない利用団体の方がいるので、最低限使用のルールは守って欲しいと思います。そうしないとどんどんルールが厳しくなって利用しにくい施設になってしまうので」と、市民の声を捉えた悩みを打ち明けてくれました。

（運営：NPO法人ふくしまNPOネットワークセンター）



▲交流ロビーには最新情報が満載



▲左 鈴木月子主事 右 内山愛美チーフ

Shake hands Fukushima ～協働事業は進行中～

NPO法人 ハッピーロードネット 「桜・浜街道プロジェクト」

NPO法人ハッピーロードネット（HRN）は、まち・みち・地域づくりを通して福島県相双地区の人々が中心となって設立した団体です。子供たちの未来のため、活動を行っています。最新の事業では、宮城県庁を借りまして、未来のまちづくり・みちづくりフォーラム 第3回ハイスクールサミットIn東北（全国大会）を開催しました。この事業は全国の高校生が集い、子どもたちが考えたテーマ別にワークショップをおこないフォーラムの場で全国に発信することができた素晴らしい大会になったと思います。詳しくはNPO法人ハッピーロードネットのホームページをご覧ください。現在進行中の事業では、東日本震災、福島原発災害によって被災した福島県の中学生・高校生を対象に「3.11に関する今の率直な想いや愛するふるさと～福島～」を題材とした作文集発行を企画し、真実を正確に後世につなぐ意味でも、福島を未来を担う若者達が、今何を考え、現在の状況をどのように受け止めている

市民と行政との協働は、復興へ向けて大きな力を発揮できると期待されています。現在おこなわれている「福島県地域づくり総合支援事業（地域協働モデル支援事業）」の活動のようすをお伝えします。

のか、どう対処しようとしているのかを明らかにしそして、20年、50年後の子供たちが読み、まわりに語り継ぐことができ、津波、原子力災害を語り継ぐことの大切さを伝える。そんな書籍を作成し、櫻井よしこ様に監修をお願いしております。そしてまた福島県の広野町から宮城県までの国道6号線桜並木プロジェクトも進行しております。

（NPO法人ハッピーロードネット事務局長 朝田英洋）



▲サミットに参加した高校生たち



▲総理公邸にて

チャレンジ! 助成金情報

項目					
A: 助成名称	B: 実施団体	C: 助成対象者			
D: 申込期限	E: 事業実施期間	F: 助成金上限			
G: 関連サイトのURL					

これからでも申し込みできる助成金情報です。内容は抜粋していますので、詳細は実施団体やホームページでご確認ください。

これからでも間に合う助成金情報

◆活動全般対象助成金

A	第14回社会貢献基金助成
B	社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会
C	非営利組織（財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループ）または大学、研究機関（個人も可）
D	2013年2月末日必着
E	2013年4月～2014年3月
F	1件あたり上限200万円（研究助成事業のみ上限100万円）
G	http://www.zengokyo.or.jp/index.html
A	①社会変革事業助成プログラム ②ファンドレイズ事業助成プログラム
B	NPO法人 チャリティ・プラットフォーム
C	非営利団体。任意団体や団体設立を目指す個人も可
D	通年
E	1年間
F	制限なし。前年度総支出額の10%までを目安とする
G	http://www.charity-platform.com/to-npo/aid.html

◆被災者支援・復興活動対象助成金

A	赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業
B	社会福祉法人 中央共同募金会
C	東日本大震災の被災者への救援・支援活動を行うボランティアグループ、NPO法人などの非営利団体
D	2012年12月25日～2013年1月25日必着
E	おもに12月26日以降に行う活動
F	■短期（1ヶ月未満）の活動：上限50万円 ■中長期（1ヶ月以上）の活動：上限300万円
G	http://www.akaihane.or.jp/
A	ゆめ風基金「障害者市民防災活動助成」
B	特定非営利活動法人 ゆめ風基金
C	障害者市民防災・減災活動に取り組む団体
D	事業実施3ヶ月前までに申請
E	特になし
F	1事業あたり10万円
G	http://yumekaze.in.coocon.jp/
A	LUSH東日本大震災復興支援チャリティ
B	株式会社 ラッシュジャパン
C	東日本大震災の被災者支援および被災地復興支援活動の実績がある団体。法人格の有無は問わない
D	毎月月末
E	最長で1年間。継続支援も可能
F	10万円～200万円
G	http://www.lushjapan.com/ethical/charitybank/

◆福祉活動対象助成金

A	日本メイスン財団助成金
B	一般財団法人 日本メイスン財団
C	非営利法人、慈善団体
D	特別募集：緊急性の必要がある場合は随時受け付け
E	2013年度
F	200万円程度
G	http://www.tma-japan.org/index.html

◆環境保護活動対象助成金

A	平成25年度（第12回）環境 NPO 助成
B	公益財団法人 日立環境財団
C	環境分野での実践活動実績を有する日本国内のNPO法人や任意団体
D	2013年1月18日（当日消印有効）
E	2013年4月以降の活動
F	1件あたり上限150万円
G	http://www.hitachi-zaidan.org/kanky/index.html

◆文化活動対象助成金

A	2013年度公募助成
B	一般財団法人 センティレフン記念財団
C	NPO法人、任意団体、一般社団法人等、各助成分野（6分野）により異なる
D	2012年12月1日～2013年1月31日（当日消印有効）
E	2013年3月1日～2014年2月末日
F	各助成分野により異なる
G	http://www.7midori.org/index.html

◆文化活動対象助成金

A	平成25年度「地域の伝統文化保存維持費用助成」
B	公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団
C	地域の民俗芸能や民俗技術における継承の諸活動に努力をしている個人または団体
D	2013年1月31日（当日消印有効）
E	平成25年度（平成26年3月まで）
F	民俗芸能：1件につき上限70万円 民俗技術：1件につき上限40万円
G	http://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp/

◆その他

A	TechSoup Japan（テックスープ）
B	NPO法人 日本NPOセンター
C	法人格をもつ非営利団体
D	特に規定なし
E	特に規定なし
F	ソフトウェアを低料金で利用できる
G	http://www.techsoupjapan.org/

最新の助成金情報は「ふくしま地域活動団体サポートセンター」のホームページをご覧ください。各助成金の詳しい内容を掲載しています。

NPO法人会計基準への対応

今年4月1日にNPO法が改正され、NPO法人が作成する決算書は収支計算書から活動計算書に変わりました。

NPO法人会計基準での決算書の様式に合わせた書類を作成する必要がありますが、これまで会計ソフトを使用してパソコン会計を行ってきた法人では、会計ソフトがNPO法人会計基準に対応していない場合には独自に様式を合わせる必要があります。

その方法として、表計算ソフト、エクセルを使って従来の決算書様式から会計基準に合った様式に置き換える方法があります。NPO法人会計基準協議会のホームページではそのためのファイルを用意していますので、ダウンロードして活用することができます。

(URL : <http://www.npokaikeikijun.jp/download/>)

NPO法人向け会計ソフトでは、最近NPO法人会計基準に準拠したものが発売されましたので、導入が可能になりました。当センターでは2月の講座で会計ソフトを活用した経理について講座を開催しますのでご参加ください。



収支計算書と活動計算書の 経常支出、経常費用の記載の違い

収支計算書

Ⅱ 経常支出の部

1. 事業費

○●事業

△△事業

■■事業

●●事業

事業費計

2. 管理費

役員報酬

給料手当

消耗品費

地代家賃

支払手数料

雑費

管理費計

経常支出合計

活動計算書

Ⅱ 経常費用

1. 事業費

(1)人件費

給料手当

法定福利費

人件費計

(2)その他経費

旅費交通費

減価償却費

雑費

その他経費計

事業費計

2. 管理費

(1)人件費

役員報酬

給料手当

人件費計

(2)その他経費

地代家賃

雑費

その他経費計

管理費計

経常費用計

無料

専門家派遣事業のご案内 [会計や運営、認定取得]

受付中

会計・運営の課題解決や認定NPO取得を各団体の状況に応じて専門家から具体的なアドバイスを無料で受けることができる「専門家派遣事業」を継続受付しております。

[相談内容例]

- ①法人税や消費税の取り扱い
- ②日々の会計や給与の処理など
- ③新しい事業の相談
- ④認定NPO法人取得の相談

[相談回数]

1団体1回90分程度

[予定受付]

20団体

[申込対象団体]

福島県内の民間非営利活動団体

(NPO法人、ボランティア団体、社会福祉法人等)

[申込、問合せ]

ふくしま地域活動団体サポートセンターへ

ふくしま地域活動団体サポートセンター

運営受託：特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

〒960-8043

福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL : 024-521-7333

FAX : 024-523-2741

E-Mail : saposen@f-npo.jp

U R L : <http://www.f-npo.jp/saposen/>



QRコードから携帯サイトを見いただけます。



編集後記

- 「支え合う 姿でできる 人の文字」人間は助け合う運命子を持っていてるそうです。(哲)
- 「私たち 一人一人の行動が 誰かの流れを創り出す」自ら動くことが大切ですね。(な)
- 「NPO 事業増えれば 課題増し」専門家派遣の申込みお待ちしております。(幹)
- 「ゆく年も 来る年もまた NPO」この世はご縁をたいて歩いていくなり。感謝。(美)
- 「活動は 常に続く 節走時」早くも年末。風邪に注意してがんばりましょう。(崇)